

第14期事業報告書 (2021年4月1日～2022年3月31日)

1. 事業の成果

第14期も、多数の会員や団体の協力のもと、平成20年度の設立時に掲げた趣旨・目的に沿って種々の事業を企画実施した。国際こども・せいねん劇場みやざき/透明体育館きらきらの管理委託業務の3期目となりコロナ禍に応じた事業をはじめ、新規の事業も行うことができた。※太字は新規事業

【産学・地域連携事業部門】 (旧：県内事業)

📁📁 主な事業

- 令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—コミュニケーション能力向上事業—<NPO法人等提案型>/
実施校：6校《受託事業》(榎原中、恒久小、国富小、上新田学園中、富田中、附属小)
- 令和3年度文化芸術による子供育成総合事業文化芸術による子供育成総合事業—芸術家派遣事業—<学校申請型>/
実施校：26校(内新規校：赤江小、小松台小、今町小、財光寺小、双葉小)《コーディネート事業》
- 令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—コミュニケーション能力向上事業—<学校申請型>/
実施校：向日市立第3向陽小、**亀岡市立育親中**、江平小《コーディネート事業》
- 宮崎スクールコンサート事業/東大宮中《受託事業》
- 【国文祭・芸文祭みやざき2020/分野別フェスティバル】「伝統・未来音楽祭—音で結ぶ友情の祭典—」《芸術家派遣事業》
- 【国文祭・芸文祭みやざき2020/芸術文化プログラム】「“こころ”のふれあうフェスタ2020」《協力事業》
- とともに学ぶ×おどる×アートする「芸術の学校vol.5」—《コーディネート事業》
- **テゲバジャーロ宮崎 × んまつーポス コラボレーション事業**《協力事業》
- 附属学校園ワークショップ(小学校・運動会に向けたWS、幼稚園・ムーブメントに向けたWS)《協力事業》
- 2021年度パープルリボンキャンペーン《コーディネート事業》

【国際連携事業部門】 (旧：県外事業)

📁📁 主な事業(県外)

- **荘銀タクト鶴岡2021年度自主事業【Dance Dance TACT】** んまつーポスダンスワークショップ—(公立学校1校、インリーチWS、教員等対象WS)《受託事業》
- いわき芸術文化交流館アリオス「令和元年度おでかけアリオス」/全1校《受託事業》
- 【国文祭・芸文祭みやざき2020/分野別フェスティバル】 んまつーポス(日本)×Unlock Dancing Plaza(香港)『空想運動会』コンテンポラリーダンス公演《主催事業》
- 2021とやま横断! TAKAOKA×DANCE×KAMIICHI んまつーポス『キリギリスとアリ』《受託事業》
- んまつーポス コンテンポラリーダンス公演 んまつーポス『キリギリスとアリ』(熊本県立芸術劇場文化事業(ネットワーク事業))《受託事業》
- 秩父宮記念市民会館主催事業 ダンスワークショップ「んまつーポスとからだをつかってゲーム!」《受託事業》
- 石狩市立石狩中学校 んまつーポス ダンスワークショップ《コーディネート事業》

📁📁 主な事業(海外)

- 文部科学省 コロナ禍を踏まえた新たな日本型教育の戦略的海外展開に関する調査研究事業 (EDU-Port ニッポン2.0)《受託事業》
実施校：4校(シンガポール日本人学校チャンギ校、上海日本人学校虹橋校、ソウル日本人学校、シドニー日本人学校)
- 令和3年度EDU-Port シンポジウム ポスター発表

【劇場部門】

📁📁 ダンス公演

- 文化庁令和2年度第3次補正予算事業「ARTS for the future!」
ダンス×建築×ゲーム 2.5次元のダンス公演「たがる3」《主催事業》
コンテンポラリーダンス ロングラン公演 んまつーポス「キリギリスとアリ」《協力事業》
- 【国文祭・芸文祭みやざき2020/分野別フェスティバル】ごちそうアーツ(舞台芸術)《協力事業》

🏠🏠 展覧会

- 【国文祭・芸文祭みやざき 2020/分野別フェスティバル】小さなアートフェスティバル（美術展）《協力事業》

🏠🏠 ワークショップ・トレーニング・研修

- 文化庁 地域部活動推進事業及び地域文化倶楽部（仮称）創設支援事業「アート塾」「CandY アート Office」「こども Canトレ」「ちいきメタバースクラブ」《主催事業》
- 豊福彬文とトレーニングする「Canトレ」（全39回）《自主事業》
- フレスコボールクラブ《自主事業》
- きらきらアート保育園 んまつーポスの時間（全28回）《協力事業》
- 宮崎大学教育学部附属小学校 自主研修会「運動会に向けて」《協力事業》

🏠🏠 その他

- 芸術団体との連携協力（森美術館、坂本善三美術館、対馬博物館）《協力事業》
- きらきらアート保育園行事協力《協力事業》
- 野々村史美バレエスクール《貸館事業》
- キッズスター《貸館事業》

🏠🏠 劇場事業実施における年間来場者

2021年4月1日～2022年3月31日 約4127名（子ども：2781名、大人1354名）

※アーティスト・クリエイター 13名 美術館・劇場関係 11名 大学関係者 12名 教員 6名 行政 9名 マスメディア 11名
企業 3名 その他 4名 合計 69名

(2020年4月1日～2021年3月31日 約3335名（子ども：2338名、大人997名）

※視察者 アーティスト：10名 美術館・劇場関係者：7名 大学関係者：3名 行政：4名 マスメディア：1名
金融機関：1名 非営利団体：2名 その他：8名 合計 28名

【その他】

🏠🏠 受賞

- ・第15回キッズデザイン賞 子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門 受賞 作品名：『ゲームごっこ』

🏠🏠 学術研究

- ・宮崎大学産学・地域連携センター第28回技術・研究発表交流会における取組事例発表/ポスター発表《学術研究事業》
- ・第73回舞踊学会 一般口頭発表
子供のゲーム依存症の防止に資するダンス教材「ゲームごっこ」の実践研究《学術研究事業》

🏠🏠 メディア

- ・2021.6.22 MRT 宮崎放送「創作ダンスでテゲバ広援」
- ・2021.6.22 NHK イブニング宮崎「創作ダンスでテゲバ広援」
- ・2021.7.4 宮崎日日新聞「国文祭・芸文祭みやざき 2020+1 開幕『迫力ダンス縦横無尽 五輪テーマに公演で魅了』」
- ・2022年3月7日～4月3日 第16回キッズデザイン賞 Web CM「作品に込めた開発者の想い」
※媒体：①都営地下鉄「新宿線」「大江戸線」「浅草線」全線 車内サイネージ（15秒）
②都営バス 全線 車内サイネージ（15秒）

🏠🏠 書籍

- ・新書館「ダンスマガジン 2021年9月号」新書館「ダンスマガジン 2021年9月号」特別企画～日本の美しい男たち
- ・新書館「ダンスマガジン 2021年10月号」Review～んまつーポス×Unlock Dancing Plaza『空想運動会』
- ・雑誌『地域創造』第47号 特集1 コロナの視座①～レジデンス再考
- ・新書館「ダンスマガジン 2022年5月号」Report～んまつーポス『たがる3』ダンス×建築×ゲーム？～

2. 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

フォトブック（事務所保管）及び、本法人ホームページ参照(<https://c-dance.miyazaki.jp/>)

(2) その他の事業

その他の事業は実施なし。

3. 総括

第14期の特筆すべき事業として、産学・地域連携事業部門、国際連携事業部門、劇場事業部門ごとに総括する。

産学・地域連携事業部門においては、文化芸術による子供育成総合事業を中心とした芸術家派遣事業及びコーディネート事業を実施したが、13期同様コロナ渦の影響は受けつつも、中止となった学校は数件にとどめることができた。コロナ渦になりすぐにリモートワークショップ用教材を大学との共同開発し、効果的な実施について現職教員との学術研究を着手したことで、コロナ渦でも安心して実施できるワークショップの実施を提供でき、コロナ渦における子どもたちの芸術文化体験の減少に貢献することができた。

また、地域のJリーグクラブと芸術家とのコラボレーション事業を展開できたことも成果の1つとしてあげたい。新しいアート×スポーツまたアーティスト×企業のコラボレーションを実現でき、Jリーグクラブ、新富町、宮崎市、西都市、宮崎大学産学・地域連携センターと共同しキッズデザイン賞への応募まで行なうことができた。

国際連携事業部門においては、コロナ渦の影響により海外での活動は制限され、現地での事業実施はかなわなかったが、前述したとおりオンラインワークショップの効果的な実施の在り方を検討し実践を積み上げたことで、上海日本人学校虹橋校をはじめとする4校の日本人学校を対象に遠隔授業を実施することができた。相手国とともに新しいダンス教材を開発し、そしてそこで生まれたものを日本にフィードバックしていくことで、日本の教育も豊かにしていくことができた。（詳細：文部科学省 コロナ禍を踏まえた新たな日本型教育の戦略的海外展開に関する調査研究事業（EDU-Port ニッポン2.0））。

また、本法人が制作およびコーディネートを行なうダンスワークショップやダンスワークショップを含むダンス公演「んまつーポスキリギリスとアリ」等が公共文化施設で構成されるネットワーク事業上に登録されたことも成果の1つとしてあげたい。これまで公共文化施設等で実施してきたダンス公演制作事業が単発で終わってしまうことがほとんどであったが、継続的に行えるような展開につなげることができたのは本法人の事業展開の安定性だけではなく、アーティストの支援等にも寄与できる大きな成果と捉えている。

劇場事業部門については、3期目となった透明体育館きらきら／国際こども・せいねん劇場みやぎきの管理運営業務において、これまでの事業の実績が評価され、一般財団法人地域創造が発行する雑誌「地域創造」の特集ページにコロナの視座①～レジデンス再考として本法人の取り組みが大きく掲載され、活動を市民一般に周知することができた。また「国文祭・芸文祭みやぎき2020【分野別フェスティバル】」に本法人が主催や協力団体として、合計3件の事業（内1件は国際連携事業部門にて実施）に関わることができたことがあげられる。また、文化庁令和2年度第3次補正予算事業「ARTS for the future!」ダンス×建築×ゲーム 2.5次元のダンス公演「たがる3」の実施、さらには令和3年度「地域部活活動推進事業及び地域文化倶楽部（仮称）創設支援事業」に採択となり、いずれの事業も「透明体育館きらきら／国際こども・せいねん劇場みやぎき」を会場としたことで宮崎市東部地区における芸術文化会場の少なさ（宮崎市の芸術文化振興に関わる担当者談）を是正する一助となったことで宮崎県における舞台芸術振興に貢献できたのではないかと考えている。

以上、特筆すべき事業を上げたが、その他に今期で5年連続となったキッズデザイン賞の応募と受賞により、興味関心を持つ行政担当者や企業担当が増えてきたことも成果の一つとしてあげたい。当法人が掲げるミッションのさらなる達成に向けてキッズデザイン賞の認知度を上げるような事業展開および本県における当法人のキッズデザインの先導的役割を担えるような事業展開を図っていきたい。

おわりに、既に「地域部活活動推進事業及び地域文化倶楽部（仮称）創設支援事業」等継続の決定や、本法人が制作およびコーディネートを行うダンスワークショップやダンスワークショップを含むダンス公演事業、企業研修の実施が決定している。引き続き事業を通じて本法人が掲げるミッション等の二度とは立ち返れない子ども・青年時代に必須のやさしい人間体験“からだをひらき、こころをひらく”と子どもが楽しい大人のコンテンポラリーダンスを初めとしたアート体験の推進を図り、事業を安全に実施し社会に貢献できる体制を整えていきたい。